



平成27年 6月10日 NO・32

〒311-1114 水戸市塩崎町1016
 TEL029-269 -2116 FAX029-269 -3160
 Mail tunezumi-j@magokoro.ed.jp
 【ホームページで、カラー版が見られます】

アクティブラーニング【大関先生の理科】

次の学習指導要領（教師の教え方の根本を示す文書）が、もうじき改訂されようとしています。今度の改訂のキーワードは、おそらく『アクティブ・ラーニング』となるでしょう。アクティブ・ラーニングとは、何でしょうか。

今までの学習指導要領には、指導（学習）の目標や、内容が示してありましたが、『どのように学ぶか』という点に関しては、多くは教師に任されていました。そのため、教師が一方的に教え込む講義型の授業が多かったと思います。

しかし、世界的な視野に立ち学習の在り方を見直してみると、日本人は「学ぶ意欲」「学ぶ力」に課題があることが分かってきました。

そこで、『どのように学ぶか』という点が重視されるようになってきました。今までのように机に1時間座りっぱなしで教師の話の聞いている「静的な学びのスタイル」から、生徒自らが何らかの活動をしたり、生徒相互の協働活動をしたりして学ぶ「動的な学習スタイル」である「アクティブ・ラーニング」が注目されてきたわけです。

昨日、大関先生の3年生の理科の教室にお邪魔しました。『エネルギーはどのように移り変わるのだろうか。』という学習課題です。本時、生徒たちは、『ペットボトルに入れた水を振ると、水の温度は変わるか』という問いをもって実験をしていました。「温度は上がるよ、エネルギーが増えるだろ。」「下がるよ、家で冷ますとき同じようなことをやるよ。」「水だぞ、温度は変わらない。」など、それぞれの予想をもって、実験に臨んでいました。

実験をしている生徒たちの顔には、笑顔が見えます。アクティブに自ら活動し、協働して学んだ知識は、テストのためだけの知識にはとどまらないでしょう。このような授業形態も、アクティブ・ラーニングの一つです。本校でも、このような学びのスタイルを積極的に取り入れていきます。



シェイク!シェイク!またシェイク
手首の使い方がウマイ
部活仕込みかな?



温度は変化したでしょうか。

2015/6/9



「はい、準備はいい」
大関先生の指示で身体を正対させる。
これができるのが、常中生の常中魂

2015/6/9



ブレイクタイム

男バス部員たちが、部活の合間に休憩を取っていた。一人の生徒が、ボールを指に乗せて回しだした。回る回る。

おそらく自ら止めなければ、延々と続けることができるかも知れない。お見事! さて、この名人はだれでしょう。